

全日本育成会発行「手もつぱく」
1997年 9月号より

障害児の彼ではなく 彼という人間を知って

川崎 地域作業所「あおぞらハウス」

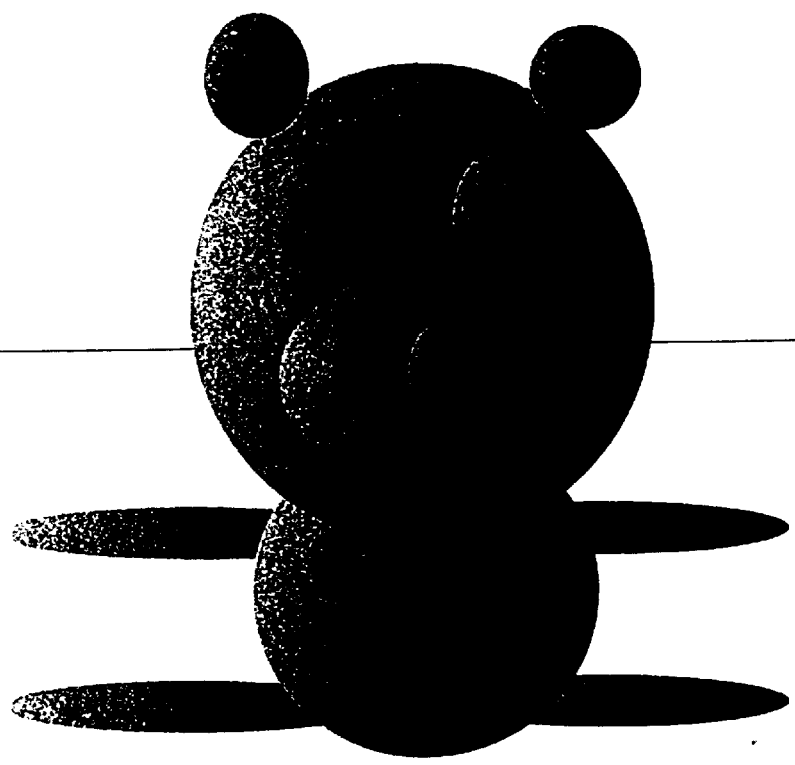
明石洋子

障害児の親って幸せなんだ！

「お弁当の中にふりかけあります」と、ふりかけのかかかっていないご飯は食べない我が家の長男はこう言って確認して、毎朝七時半に、お弁当と作業着と私から上司への連絡の手紙の三点セットをバックに入れ、ウキウキと仕事に出かけていきます。

公務員になってもう五年目。小さなハプニングも感動にかえて、笑顔いっぱい充実した日々を送っています。

障害児と言われ、言葉もなく奇妙な行動ばかり目に付く我が子が理解できずに不安だったころは、今日のような日が来るとは思ってもいませんでした。幼稚園を七園も断られた重度の自閉症児の彼は、予測され



た将来像をはるかに超えて、今やりっぱな一人前の社会人です。私に多くの大切なことに気づかせ、すばらしい友と感動と感謝の日々を与えてくれました。

同情より理解を求めて

さて彼が想像以上に成長したのはなぜか？
答えは簡単です！ ずっと地域の中で生き

てきたからにほかなりません。周りの人は、自閉症の彼でなく、ちよつと変わつてるけど一人の人間としてつきあい、理解し働きかけ支えてくれました。皆と同じ場において否応なしにふれあうこと、これが不可欠です。たまのふれあいは障害にのみ目が向き、「かわいそう」という哀れみと同情しか生まみません。

彼が定時制高校に入るとき「普通の子でも夜学校に行くのは大変なのにかわいそう」、清掃局で実習したときも「この暑い真夏にゴミ集めさせてかわいそう」と言われました。彼を養護学校や作業所に通わせる方が親としては安心して楽かもしれませんが、彼が「高校に行きたい」、「清掃局で働きたい」と希望するのですから、「かわいそう」だからとやめさせるのは、彼にとって不幸でしょう。大変でも本人の意思を尊重して、厚い扉を開く手助けをしようと思いました。「かわいそうなのでさせません」と私が言ったら、それは面倒なことをやめる口実なのです。本当の優しさ思いやりとは「かわいそう」と同情することではなく、理解し必要な手助けを自然にすること。人権を認めるということは、彼の意思を尊重して、彼が地域の中で生きがいのある人生を送れるよう保障すること。そんなことを彼を育てながら学びました。

共に生きることが特に大切な学齢期

思い起こせば、同じ小学校に弟や近所の子と一緒に通つたことが現在を可能にしたと思えます。あいさつや交通ルールや買い物等の自立に必要なスキルの習得にも、また人格の形成にも、子どもたちが彼を仲間としてありのままに受け入れ、共感しながら学習できた、一番大切な時期でした。子どもたちは私と情報を交換しあいながら、常に必要な働きかけをしてくれました。校内だけでなく放課後も夏休み等もいつもいっしょ。皆と楽しく遊ぶ中で、経験を積み重ね、微々たる進歩ですが言葉も社会性も身につきました。高校の先生が「明石君は人生を肯定的に生きており感動をおぼえます」と表現されましたが、学齢期に彼が心で感じたものが目に見えるもの以上にずっと役立っております。人を信じ、相手に優しい気持ちを起こさせる特性は、その後も厚い壁にぶつかるときに、「彼がまわりをかえてくれるよ」と言う友人の言葉どおり、彼自身の力で逆境を乗り越えております。しかし当時は、地域にあたりまえと願つても教育の壁も厚く、手帳Aでは普通学級は問題外、親のエゴと言われたものでした。また普通学級に通わせての最初の懇談会で、あるお母さんから「ああいう子は養護学校に行つていと思うのですが、なぜこの学

校にきているのか理由を聞かせてください。もし正当な理由があつても、自分の子どもは斜め前の席から替えてください」と言われ、覚悟はしていましたが、涙が出そうになりました。でもここで泣いたら、「かわいそうな子をもつ不幸な母親」と同情こそされ理解はしてもらえませんが、私は勇気を出して子どもとの障害と発達の現状、対応の仕方そして親の気持ちを話し、このクラスにいることを認めてほしいとお願いしました。半べソ状態でしたけど、皆さんが拍手して受け入れてくれホッとしました。親たちが理解し、ボランティアとして協力してくれ、勇気百倍になった私は子どもたちとともに、地域の中で楽しんで活動できる場を作る運動もやりました。

本人の能力より周りの理解と工夫を

専門家のアドバイスを受けながら、分かりにくい行動の意味を探り、障害をありのままに認め、むしろその中から特長を見出だし、必要な発達の手立てを工夫して育てました。本人の特性を知り工夫することで学習も就労も生活も可能です。障害が軽いか重いかより、周りに工夫する支援者がどれくらいいるにかかっているようですね。壁が厚いほど、共感する仲間がふえ、不可能が可能になりました。